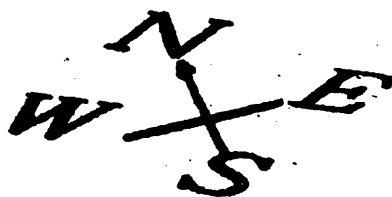


エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称 藤沢エコネット)

2007年 5月 1日
第156号



主 事
・ 藤沢エコネット活動報告
・ 引地川ダイオキシン事件7年目の検証続き
・ ナショナル・トラスト発祥地を訪ねて

事務局〒 252-0816 藤沢市遠藤849-9 青柳
☎ / F A X 0466-87-4922 (夜間のみ)
<http://comcom.jca.apc.org/econet/>

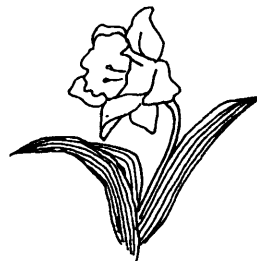
ナショナル・トラストの発祥地を訪ねて

4月はじめ、イギリスを縦断して旅をし、湖水地方を訪れたとき、黄色のラップズイセンが道端や、ちょっとした空き地に咲き乱れ、可憐に風にそよいでいた。日本では白い水仙が主流なのに、イギリスは黄色ばかりと思っていたら、イギリスの19世紀の詩人ウィリアム・ワーズワースが次のように詠っていた。

水仙

谷を越え山を越えて空高くながれてゆく
白い一片の雲のように、私は独り悄然とさまよっていた。
すると、全く突如として、眼の前に花の群れが、
黄金色に輝くおびたしい水仙の花の群れが、現れた。
湖の岸辺に沿い、樹々の緑に映え、そよ風に吹かれながら、
ゆらゆらと揺れ動き、躍っていたのだ。

(岩波文庫「イギリス名詩選」より 平井正穂訳)



若いワーズワースの心の傷を癒してくれたのは、移り住んだグラスミアの素朴な自然の湖や森だった。産業革命で緑が破壊され、自然破壊が進み、鉄道が建設されようとするとき、彼は反対運動をして、止めさせた。その後彼の詩が語る「自然を敬う心」は多くの人に受け継がれ、1895年、社会活動家オクタビア・ヒル等3人によって、いつでも誰でもが自由に出入りできる自然豊かな土地や歴史的建造物を買取り、共有財産として残す「英国ナショナル・トラスト」が設立された。ナショナルとは国家ではなく、国民のことである。

その後あの「ピーター・ラビット」の作者ビアトリクス・ポターが相続で得た湖水地方の広大な土地をナショナル・トラストに託している。

イギリスは思ったより小さな国、日本の約5分の3の面積、人口は約半分の6千万人だ。しかしその20人に1人、およそ300万人がナショナル・トラストの会員だというから驚く。そのせいかガーデニングは、手を入れても、自然に生えているようにするのがコツだと言う。

春は産卵期で、小川では親子ずれのカモがあちらこちらで見られたが、工事中の時、鳥などが産卵し子育てをし始めると、巣立つまで工事を中断するという。いのちや自然を大切に、行政に生かすこと、日本でも是非まねをしたい。

日本では古都鎌倉を乱開発から守るため、大仏次郎が1964年にナショナル・トラスト運動を始め、1968年には(財法)日本ナショナル・トラストが、1992年に(社法)日本ナショナル・トラスト協会が設立されている。

(青柳節子)

以上の排水処理形態と、ダイオキシン類の排出濃度および排水量から判断して、流動床炉のスクラバー排水のダイオキシン類レベル(10万pg-TEQ/L程度)および排水量は、雨水排水路で検出された高濃度のダイオキシン類汚染を説明するに十分なものである。

なお、ガス化熔融炉およびIPP発電所から発生した焼却灰は、流動床炉からのそれと同様に全量が廃棄物処理業者に委託して処理されていたことが確認されている。

2) 事業所内のダイオキシン類による汚染

立入検査に当たっては、公共用水域のダイオキシン類汚染の直接的な原因と判断されるスクラバー排水のほか、事業所内の各種試料を採取しダイオキシン類の濃度を分析した。その結果から、ばいじん中に高濃度のダイオキシン類が含まれていたほか、ばいじんの飛散によると思われる施設周辺の堆積物に汚染が認められた。なお、ピット汚泥等はスクラバー排水に混入して流下した可能性もあると考えられる。

3) 事業所内における汚泥の埋立処分による汚染

事業者は、総合排水処理施設の沈砂池に沈殿した汚泥を1993年9月～98年4月までの間、同事業所敷地内に埋立処分していたことが明らかになり、その総量は約550m³であると推定される。

事業者が2000年4月に埋立処分したと思われる汚泥の重金属溶出検査を実施した結果は埋立基準値を下回っており、埋立地周辺地下水の重金属の検査結果も地下水環境基準値を下回っていた。さらに埋立処分したと思われる汚泥のダイオキシン類の簡易分析結果は、土壌調査指標値(250pg-TEQ/g)を下回っていた。

4) 事業所内の配管施設および総合排水処理施設

事業所では、流動床炉のスクラバー排水以外にも27カ所で汚水が雨水管に導かれ、未処理のまま雨水排水路に排出されていたことが

明らかとなった。いずれも公害規制法令や条例上の特定施設等には該当せず、発生過程から判断して汚染負荷量が特段に大きなものではない。しかし、こうした事態が生じた原因も、流動床炉のスクラバー排水の誤接続と同様のものであり、今回の事件が判明するまで把握できなかった事業者の管理体制には重大な問題があったといわざるを得ない。

(3) 当該事業所からのダイオキシン類の環境への排出量の見積もり

事業者からの報告および神奈川県による立入検査の結果を踏まえて検討したところ、この流動床炉が1992年11月に運転を開始し、2000年3月23日に運転を停止するまでの7年5カ月の間に、当該事業所全体から環境に排出されたダイオキシン類の総量は、水系に3.0g-TEQ、大気に1.4g-TEQの合計4.4g-TEQと推計された。

3. 事件に伴う周辺環境のダイオキシン類調査結果と評価

事件に伴う周辺環境への影響を把握するため、第1回連絡調整会議において決定した調査計画に従って200年度に周辺環境調査を行い、健康影響のリスクについて評価した。

(1) 引地川水系

1) 水質

発生源の直近にある雨水排水路(暗きよの排水路)では、流動床炉の運転に伴って排水が排出されていた時点では3,200～8,100pg-TEQ/Lという著しく高濃度のダイオキシン類が検出された。流動床炉の運転および排水が停止された3月23日の後、濃度レベルの低減が見られるものの、4月26日までの時点で平均42pg-TEQ/Lと環境基準を大幅に上回っている。

また、引地川本川の代表的な測定地点である富士見橋では、流動床炉が稼働していた3月23日以前は、平均6.5pg-TEQ/Lのダイオキ

シン類が検出された(環境庁の1998年度全国調査、99年度の神奈川県および藤沢市調査を含む)。一方、当該施設の運転および排水が停止された後の3月24日から4月26日までは、平均2.5pg-TEQ/Lと濃度レベルが改善されているが、なお環境基準を上回っている状況にある。

事業所敷地境界から引地川に至る雨水排水路の全線および流動床炉のスクラバー排水が流下した事業所敷地内の雨水管の全区間については、事業者が4月14日～5月6日にかけて清掃作業を行った。

2) 底 質

底質汚染は長年にわたる環境負荷の累積を反映しているので、その濃度レベルの評価は、発生源との位置関係や全国的な調査結果と比較することによって行うことが適当である。

引地川では、雨水排水路の合流後の高名橋でもっとも高い35pg-TEQ/gが検出され、高名橋を含めその下流では平均12pg-TEQ/gであり、環境庁の1998年度全国調査の結果(平均8.3pg-TEQ/g)と比較してやや高い濃度レベルであった。

3) 魚 類

引地川の魚類、コイ、フナ、ボラの3種、7検体を調査したところ平均10pg-TEQ/gであり、環境庁の1998年度全国調査の結果(平均2.2pg-TEQ/g)より高い濃度レベルであり、水質の環境基準を上回るダイオキシン類汚染による影響を受けている可能性がある。

(2) 引地川河口周辺の相模湾

水質、底質、魚介類、海水浴場について調査した結果、引地川河口周辺の相模湾への影響は小さかったものと考えられる。

(3) その他の生活環境

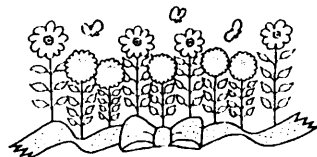
井戸水・湧水や農作物等を調査した結果、これらに対する影響はないか、あったとしてもきわめて小さいと考えられる。

(4) 健康影響のリスクに関する評価

事業所からのダイオキシン類排出の主要な

経路は、場内の雨水管から雨水排水路を経由した引地川への排出であり、その他に、総合排水処理施設から放流される排水および流動床炉等から大気中への排出があった。これらのダイオキシン類の環境負荷に伴う人の健康影響について考察した結果は次のとおりである。

- ① 引地川の水質は環境基準を超えているが、この河川水は飲料水や、雨水排水路合流点より下流では農業用水としての利用実態がなく、漁業も営まれていない。また、周辺地域の井戸水や農作物への影響は認められない。このため飲料水、農作物および引地川に生息する魚類の摂取を通じた地域住民のダイオキシン類の摂取量の増加はないか、もしくはわずかとであると判断される
- ② 引地川河口周辺の相模湾で捕獲される魚介類の濃度レベルは全国調査の範囲内であり、これを食用に供することにより、市場で入手できる通常の魚介類との比較において、ダイオキシン類の摂取量が増加することはないと判断される
- ③ 引地川河口周辺の海域での水質は水質環境基準を下回り、また、海水浴場の浜砂も土壌環境基準および調査指標値と比較しても十分に下回る状況にあり、海水浴等のレジャー活動によって健康影響が生ずるおそれはないと判断される
- ④ 大気環境については、藤沢市が1999年度に市内4カ所(藤沢市役所、湘南台文化センター、御所見小学校および明治市民センター)で季節ごとの年4回の測定例があるが、いずれも年平均値で大気環境基準を下回っており、呼吸を通じた摂取が健康影響をもたらすおそれはないと判断される



以上①～④を総合すると、周辺地域での井戸水の飲用や農作物の摂取といった日常生活、周辺海域での海水浴等のレジャー活動および周辺海域で水揚げされる魚介類の摂取によって、健康に影響が生ずるおそれはないものと判断される。ただし、引地川の魚類は比較的高濃度のダイオキシン類が検出されていることから、食用に供さないことが望ましい。

4. 事業者に対する行政措置

(1) 関係法令に照らした違反事実等の検討

ダイオキシン類対策特別措置法に基づくダイオキシン類の排出基準および事故時の措置、水質汚濁防止法に基づく排水基準違反、廃棄物の処理および清掃に関する法律に基づく廃棄物処理施設の構造基準・維持管理基準、産業廃棄物の処理基準および産業廃棄物処理施設の設置許可および産業廃棄物処理の委託基準、その他法や条例に基づく届出変更申請等について検討を行った。

(2) 行政措置の方針

関係法令に照らした違反事実等の検討結果に基づき、事業所のダイオキシン類汚染事件について、判明直後の神奈川県からの指示により排水の停止措置はとられているものの、長年にわたり高濃度のダイオキシン類を含む排水を排出し、地域住民等に多大な不安をもたらしたことの重大性、法的義務の範囲に留まることなく汚染原因の完全な是正と再発防止を徹底する見地から、事業者に対し迅速かつ的確な改善措置の実施を求める必要があり、事業所に対し、以下の事項を主たる内容とする勧告を行った。

① ダイオキシン類対策特別措置法等に基づく水質排出基準が確実に遵守されることとなるよう速やかに排水処理施設を改善・整備すること

② すべての施設、建屋等について、雨水と汚水を完全に分離するとともに、すべ

ての汚水が排水処理施設に集水され、確実に処理されるよう措置すること

③ 公共用水域に排出するすべての排水および汚泥埋立地周辺の地下水質の監視測定を行うこと

④ 社をあげて排水および廃棄物の管理体制を抜本的に見直し、改善・強化すること

神奈川県知事並びに藤沢市長から事業所に対し、それぞれ平成12年5月31日付けをもってこの勧告を行った。また、この勧告において、指示事項を受けて事業者が行う措置内容の実施計画書を提出するよう求め、事業者から提出された。

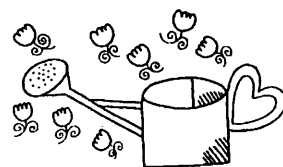
5. 継続した環境調査

2000年度の水質・底質調査結果では、8月までは水質の一部で環境基準を超過していたが、9月以降では超過は認められなかった。

2001年度以降も引地川の水質、底質について経過調査を実施したが、いずれも環境基準に適合していた。魚類等については2001年度以降も調査したが、いずれも全国調査の結果の範囲内であった。調査結果等については毎年度取りまとめて公表し、的確な情報提供に努めてきた。

6. 事故後の対応

事件の原因となった誤接続について、県内の事業所等に一斉点検を進め、判明した場合には改善を指導した。また環境を常時監視することにより、事故等による汚染を把握するとともに、その後の対策に努めている。



『環境コミュニケーションズ』ダイオキシン関連の図書の紹介

東京都港区赤坂9-1-7-244 電話 03-3404-5714 F A X 03-3404-5716
 == 「引地川水系におけるダイオキシン汚染事件」論文が掲載された出版社 ==

環境問題と世界史

大場 英樹

環境破壊の元凶と言われる人類の歴史を古代からベトナム戦争まで個々の環境破壊を例にとりながら検証し、同じ轍を踏まないための教訓を集めたロングセラー。

四六判/220頁/定価1890円(本体1800円)送料290円
 ISBN4-87489-003-2

水質汚濁の生態学

津田 松苗

湖沼・河川の環境、生物生産、水質汚濁、自浄作用、富栄養化など、水質環境のしくみを解き明かした陸水学の古典的名著。学生から専門家まで必携。

A5判/250頁/定価2940円(本体2800円)送料290円
 ISBN4-87489-101-2

化学はなぜ環境を汚染するのか

村田 徳治

化学の歴史と基礎を学ぶことから始め、いま問題となっている化学物質による環境汚染や安全性についてやさしく解説。著者の豊富な経験に基づく鋭い批判が魅力。「化学嫌い」にもお勧めの一冊。

A5判/325頁/定価2625円(本体2500円)送料290円
 ISBN4-87489-137-3

やってみよう!環境教育 みんなでつくる川の環境目標

日本水環境学会水環境教育委員会(WEE21)編著

川の環境を調べ、環境目標を作り、みんなで問題を解決していく実践型環境教育ガイドブック。調査方法、環境目標や意見のまとめ方、川の調査方法を年齢・人数・場所・準備別に解説。独自のHP(www.iie.org/wec21/)も拡充中!

A4判/140頁/定価2100円(本体2000円)送料340円
 ISBN4-87489-139-X

環境計測器ガイドブック(第6版)

(社)日本電気計測器工業会編

環境全般にわたる最新の自動計測器、計測システムおよび周辺機器を分かりやすくていねいに解説するとともに、関連する法令・用語等も掲載した実務書。

A4判/332頁/定価4200円(本体4000円)送料340円
 ISBN4-87489-144-6

改訂版 小型焼却炉

三好 康彦

環境省令の改正で新たな局面を迎える小型焼却炉の選定から維持管理、環境対策、緊急時の措置までを分かりやすく解説。読めば分かる小型焼却炉の扱い方。廃棄物処理関係者必読の一冊。

B5判/312頁/定価3150円(本体3000円)送料340円
 ISBN4-87489-141-1

環境政策

阿部 晶

環境問題を幅広く題材にして、なぜ問題が起きるのか、対策は何か、等についてていねいに解説。問題に対処する際の考え方、国、自治体、国際社会が進めている手法について詳述。教材として最適。

A5判/214頁/定価1890円(本体1800円)送料290円
 ISBN4-87489-134-9

月刊「資源環境対策」

誌歴42年の環境保全の総合誌。1992年1月号から「公害と対策」を誌名変更し、地球環境時代と学際・業際分野の環境情報を掲載。

B5判/約140頁/定価1478円(送料108円)年間購読料19032円(送料込)
 雑誌コード04355

環境ラボビッグバン

—日本の環境モニタリング発展に明日はあるのか—

谷 學

日本環境測定分析協会会長も務めた著者が解き明かす環境モニタリング業界の問題点と再編の波。精度管理で火がついた改革の未来図をITなどを駆使した環境ソリューション産業として見据えた一冊。

A5判/200頁/定価1890円(本体1800円)送料290円
 ISBN4-87489-136-5

小規模事業場排水処理対策全科

環境省閉鎖性海域対策室監修

廃棄およびリンを新たな指定項目として追加した第5次水質総量規制に対応すべく小規模事業場排水の業種別対応策を例示した総合マニュアル。関連情報をまとめた参考資料も充実。第5次水質総量規制対応版。

A4判/382頁/定価3990円(本体3800円)送料340円
 ISBN4-87489-138-1

環境大気常時監視マニュアル

環境庁大気規制課監修

SOx, NOx等の乾式測定法を中心に最新大気監視技術を易しく解説したモニタリング関係者必携・必読の書。常時監視システムの運用、維持、管理等、関係者希望のマニュアル。

A4判/352頁/定価5500円(本体5238円)送料450円

大気汚染・自動車・健康影響

小林剛 訳注

HEI監修「Air Pollution, The Automobile, and Public Health」の翻訳。自動車排ガス問題をばく露分析、生物学的影響など総合的な視点で捉えた一冊。

B5判/636頁/定価60146円(本体57282円)送料450円

市民ランドスケープの創造

田畑貞寿 田代順季 ほか

多様な緑空間の役割を分析しつつ、現代のキーワードでもある共生、高齢化社会、市民参加、ワークショップなどを詳述した新しいランドスケープ論。

A5判/380頁/定価4689円(本体4466円)送料340円
 ISBN4-87489-123-3

市民ランドスケープの展開

田畑貞寿 田代順季 編著

自然保護を基調としたランドスケープの視点、市民による公園・緑地管理、共生と再生の事業と計画、自然公園と環境資産、歴史と文化遺産、危機管理のありよう、グローバルスケールでみたランドスケープの展開など、新たな視座を豊富に紹介。

A5判/400頁/定価3360円(本体3200円)送料340円
 ISBN4-87489-143-8

野生生物のための河川環境管理

英和河川公社、王立自然保護協会、野生生物トラスト/鳥類管理委員会、近藤昌也/訳

生物と共存できる川づくりのためのハンドブック。渡渉、護岸、水門、貯留、洪水、動植物土壌、流れ、堤防管理、植生などの工法・事象を網羅。図面、写真を使い、平易に解説。河川環境、川をめぐる環境・河川・土木工学の知見が多数。

A4判/200頁/定価3675円(本体3500円)送料340円
 ISBN4-87489-140-3

季刊「全国環境研会誌」

全国環境研協議会編集委員会編

北は北海道から南は沖縄に至る全国の公害センター・研究所の機関誌として31年の誌歴を重ね、研究機関の最新の研究情報を掲載。

B5判/56頁・定価1000円(送料240円)年間購読料4960円(送料込)

藤沢エコネット2006年度活動報告

2007.4

年間の主な活動

- (1) ふじさわ環境講座2006開催全3回
- (2) エコネットニュース毎月発行 144号(5月号)～154号(3月号)
- (3) ふじさわ環境フェア2006(市主催)企画委員会に参加
- (4) 環境フェア協賛行事「資源リサイクル施設見学会」を開催
- (5) ごみ有料化問題市民連絡会に参加し、ごみ処理有料化反対運動に取り組む。

部会活動 (1)編集部会 毎月ニュース発行 (2)ホームページ部会 情報宣伝
(3)企画部会 講座詳細企画
(4)NO2部会 「藤沢の空気を考える会」に参加し、年2回大気測定

毎月の活動

- ・例会 月1回 原則第2土曜日午前 開催
- ・事務局会議 月1回 開催
- ・編集会議 月3回開催
- ・ホームページ更新

団体参加

かながわグリーンネット
藤沢の空気を考える会
藤沢ごみ有料化問題市民連絡会(2005. 11－2006. 11)

年間活動報告

- 5月
- ・13 総会
 - ・エコネットニュース発行 144号
 - ・14 空気の汚れを考える西湘・三浦・湘南地区集会 講師野本哲夫(藤沢の空気を考える会等)
 - ・27 「止めようごみ有料化」市民集会(藤沢ごみ有料化問題市民連絡会主催)
- 6月
- ・全国一斉大気測定(NO2)
 - ・エコネットニュース発行 145号
 - ・10 市環境フェア協賛行事「資源リサイクル施設見学会」
 - ・24, 25 市環境フェア 展示(地球温暖化・廃棄物問題) 3分スピーチ に参加
- 7月
- ・エコネットニュース発行 146号
 - ・8 藤沢エコネット交流会
 - ・17 ごみ有料化反対市民交流会(藤沢ごみ有料化問題市民連絡会)
- 8月
- ・エコネットニュース発行 147号
 - ・26 市みんなの消費生活展に参加
- 9月
- ・エコネットニュース発行 148号
 - ・16 環境講座2006 「C-X(シークロス)辻堂駅北口開発を学ぶ」 講師 市担当者
 - ・ごみ有料化問題市民連絡会がごみ処理有料化反対請願署名40980筆を市長を市議会に提出
 - ・9月議会で、23対11でごみ有料化条例可決
- 10月
- ・エコネットニュース発行 149号

- 11月・エコネットニュース発行 150号
 ・12 男女共同参画NPOフォーラムすずめの会「からだにも地球にもやさしい食を」に参加
 ・16 市環境保全課と大気汚染について話し合い(藤沢の空気を考える会)
 ・「藤沢ごみ有料化問題市民連絡会」が発展的解消し、「藤沢ごみ問題市民の会」発足
- 12月・エコネットニュース発行 151号
 ・7, 8全国一斉大気測定(NO2)
 ・17 ごみ問題市民集会に協力(藤沢ごみ問題市民の会主催)
 ・20 土木計画課ほか4課と大気汚染関連話し合い(藤沢の空気を考える会)
- 1月・エコネットニュース発行 152号
 ・13環境講座2006「増え続けるぜんそくと大気」鈴木久夫(かながわ大気汚染・道路公害連絡会)
 ・28 市消費者大会「安全でおいしい水がのみたい」ー水は豊かな大地からーに参加
- 2月・エコネットニュース発行 153号
 ・4 地元農業を考える会「おいしいものが食べたい」に参加
- 3月・エコネットニュース発行 154号
 ・11 ごみ有料化問題市民集会に協力(藤沢ごみ問題市民の会主催)



2006年度 決算 (2006. 4月～2007. 3月)

2007. 4. 14現在

収入の部

単位:円

科目	予算	決算	備考	07年度予算案
前年度繰越金	0	20,332	前年度借入	0
会費	220,000	128,900	43口	220,000
寄付収入	60,000	19,000		55,000
事業収入	0	10,900	講座資料代	5,000
借入金		22,977		0
合計	280,000	202,109		280,000

支出の部

科目	予算	決算	備考	07年度予算案
借入金返済	20,332	20,332	前年度借入	22,977
講師謝礼	50,000	5,000	講座3回	40,000
会場費	12,000	11,050	推進センター会議室	12,000
印刷費	44,668	21,827	印刷 用紙 コピー代	59,123
通信費	150,000	136,800	切手 メール便等手数料	140,900
事務用品費	3,000	7,100	封筒 ラベルシート	5,000
予備費	0	0		0
合計	280,000	202,109		280,000

「大気汚染測定 三浦半島 湘南 西湘地域報告集会」

～排気ガス対策と現状～

とき 5月12日(土) 13:30～ 参加費300円

ところ 横須賀汐入産業交流プラザ3階第2研修室(京浜急行汐入駅前)

大気一斉測定6月5日(木)6日(金)の24時間

年2回の測定をしています。12月の汚染度はいかがでしたか?

自宅の周りの測定をご希望の方

事務局までお知らせ下さい。☎87-4922青柳

ふじさわ環境フェア2007

テーマ「とめよう地球温暖化～見つめ直そう私たちの暮らし～」

6月23日(土)24日(日)

場所 藤沢市民会館展示ホール 多目的広場ほか

今年も楽しい催しを行います。

展示 環境川柳募集5/1まで アニメ「アイス・エイジ2」ほか

主催/問い合わせ 藤沢市環境管理課☎直通50-8417



食育を考える 日本大学生物資源科学部市民講座

6月2日～30日の毎土曜日 13:30～15:30 日大湘南校舎

「食育と国民の健康を考える」ほか 講師山本茂氏(お茶の水女子大学教授)ほか

受講料1000円 往復はがきで5/18までにお申し込みを

申込み/問い合わせ 日本大学生物資源科学部研究事務課 ☎0466-84-3871

藤沢エコネット

エコネット環境講座(環境フェア2007協賛行事)

「食べていませんか? 遺伝子組み換え食品」

日頃の疑問である遺伝子組み換え食品について深く学習しましょう

講師 アキコ・フリットさん(グリーンピース・ジャパン)

とき 6月2日(土) 13:30～

場所 市民活動推進センター会議室 資料代300円

新年度になりました。会費の納入お願いいたします。

会員募集→会費3000円 振込口座は→郵便局へ→00240-9-46501 藤沢エコネット

次回事務局会議

5月16日(水) 17:30～ 市民活動推進センター



《編集後記》4年に一度の市議会議員選挙も終わった。争点となったごみ有料化や福祉医療ほかがあり、新議員の公約を実現することに力を発揮して欲しい。「ごみ有料化は税金の二重取りである」との訴訟が起こされた。5月16日11時から口頭弁論が横浜地方裁判所で行われるという。情報詳細は次回にとして、興味ある方は傍聴してはいかがか。(H)